

タイヤは空気圧が命！窒素充填はタイヤ内の圧力を安定させる！

☆温度による圧力変化が少ない

タイヤは路面との摩擦によって温度が上昇する。

①バーストの防止

【空気充填の場合】

タイヤの温度上昇に伴って、タイヤ成分、水分、酸素の反応により、圧力も上昇し、最悪の場合、バーストやバーストによる火災発生にもつながる。

【窒素充填の場合】

水分、酸素が無いので、圧力上昇もしにくく、バーストやバーストによる火災発生の恐れも少なくなる。

②走行性の改善

【空気充填の場合】

タイヤの温度上昇に伴って、圧力が上昇し、乗り心地が悪くなり、ステアリングフィールも悪くなる。

【窒素充填の場合】

タイヤの温度が上昇しても、内圧の変化が少なく、乗り心地は悪くならない、ステアリングフィールも悪くならず、快適な走行性が望める。

③偏摩耗の改善

【空気充填の場合】

タイヤの温度上昇によって、圧力が上昇し、偏摩耗の要因となり、タイヤライフの低下、安定性の低下となる。

【窒素充填の場合】

タイヤの温度が上昇しても、内圧の変化が少なく、偏摩耗になりにくく、タイヤライフの向上、安定性も保たれる。

☆空気に比べ、圧力低下（エアー漏れ）しにくい

窒素は透過速度が遅いのでタイヤの中を透過しにくい、酸素に比べ、約4倍も抜けにくいので圧力低下が少ない。

①燃費の向上

【空気充填の場合】

知らない間にエアー圧が下がっていて、タイヤと路面の抵抗が増え、燃費が悪くなる。

【窒素充填の場合】

適正なタイヤ内圧が維持されるので、燃費の悪化が防げる。

②スペアタイヤ（もしも…の時に！）

【空気充填の場合】

知らない間にエアー圧が下がっていて使えない、最悪の場合、タイヤとホイールが外れて事故になる事も…

【窒素充填の場合】

適正なタイヤ内圧が維持されるので、スペアタイヤの役割を果たします。

③偏摩耗の改善

【空気充填の場合】

知らない間にエアー圧が下がっていて、偏摩耗の要因となり、タイヤライフの低下、安定性の低下となる。

【窒素充填の場合】

適正なタイヤ内圧が維持されるので、偏摩耗になりにくく、タイヤライフの向上、安定性も保たれる。

☆タイヤ、ホイールにやさしい

酸素が無いから酸化しないので、サビが発生しない。

上記項目から言える事は・・・

窒素充填すれば、お客様にとっては、いい事ばかりです。
是非、自信を持って薦めて下さい。